



THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI HIROSEGAWA

仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2015年4月号ブリテン 通算第47号 2015.4.15



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX 022-222-2952

Email: ckj01150@rio.odn.ne.jp 書記 佐藤 剛

HP: http://www18.ocn.ne.jp/~sendaiys/sendaiys.html

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1火曜日 仙台YMCA 18:45

2014-2015年度 主題 (Theme)

国際会長	Isaac Palathinkal (インド)	"Talk less, Do more" 「言葉より行動を」
アジア会長	岡野 泰和 (大阪土佐堀)	"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
東日本区理事	田中博之 (東京)	「誇りと喜びを持って」
北東部部長	大久保知宏 (宇都宮)	「一体となって一歩前に」 ~楽しく、楽しく、楽しく~
クラブ会長	門脇 秀知	「ワイズの強みは“つながり”です」 ~お互いに支え、支えられている~

2014~2015年度 クラブ役員

会長	門脇 秀知	地域奉仕	吉田俊一 阿部 松男	ユース	佐藤 善人
副会長	堀越 祥浩	CS		YMCAサービス	清水川 洋
書記	佐藤 剛	会員増強	菅野 健 布宮 圭子	ドライバー	加藤 研
会計	高篠 伸子	EMC	及川 浩美	メネット会長	松本 京子
直前会長	門脇 秀知	国際交流	伊勢 文夫 村井 伸夫	ブリテン	本野日出子
監査	伊勢 文夫	DBC	井上 恵子	担当職員	佐藤 健吾

今月の聖句

吉田 俊一

「トマスは答えて、『わたしの主、わたしの神よ』と言った。」

ヨハネによる福音書20章28節

巻頭言

「ペリリュー島と武蔵」

菅野 健

「ペリリュー島」と「武蔵」という文字が新聞・テレビで報じられました。二つとも戦後70年を迎えた日本にとって大きな意味をもつものです。「ペリリュー島」は太平洋のはるか南、パラオ諸島にある島です。このたび天皇皇后が訪問されたので広く知られるようになりましたが、太平洋戦争で大激戦のあった小さな島です。

戦争前から日本の統治下にあった島では住民の方と日本人は友好的に交流し、日本の姓を名乗る方が今もおられるようです。アメリカ軍の上陸を前に、日本軍は住民の方を危険の及ばない島に避難させたため住民の犠牲が少なく済み、今も感謝されておられるそうです。

「武蔵」は「大和」とともに日本海軍が誇った巨大戦艦で、数千人の乗組員を載せてアメリカ軍の攻撃で沈没し、70年以上もその位置さえもはっきりしなかったのですが、アメリカの実業家が探し出しました。

私の父(故人)は海軍士官で、「武蔵」・「大和」に乗りました。戦死することはなかったのですが、戦争のことはあまり話したがらない人でした。大激戦地の沖縄に旅行するのもかなり躊躇し、70才を超えてから娘に引率されてやっと思いましたが、好きなビールを飲んだ時にたまに懐かしそうに軍歌を口ずさむことはあっても戦争の悲惨さは忘れられないようでした。生きていて天皇皇后の訪問と武蔵の発見を聞いたらどんな表情を見せたかはわかりません。

予想できることは、天皇皇后が日本人のみならずアメリカ人の慰霊碑の前に立たれたことを「立派だ」と思ったことと、戦友のご遺骨がご遺族の元に早く戻ってほしいとでしょう。

そして、「悲惨な戦争は二度とするな。させるなよ」と言われることです。

3月第1例会報告

在籍者	18名	出席者	8名	メイキャップ	6名	出席率	77%
メネット	名	ゲスト・ビジター	6名	ニコニコ			9000円

【3月第1例会報告】

日時： 3月18日（水） 18：45～21：00
 場所： YMCA 幼稚園
 出席： 門脇・伊勢・吉田・佐藤善人・加藤研・堀越・松本・及川

ゲスト： 仙台YMCA幼稚園の先生のみなさん

副園長：高橋裕子先生

ゆり組：佐藤可奈 ひまわり組：安倍彩華

預かり担当：藤岡由紀

仙台青葉城クラブ 清水弘一ワイズ

3月第1例会はYMCA幼稚園の先生方と一緒に聞きましょう！歌いましょう！というテーマで4名の先生方に参加していただきました。まず高橋裕子先生よりYMCA幼稚園の教育方針をお聞きしました。入園前の親御さん達が、うちの子供は何も出来ないの幼稚園でやっていけるか不安だという声が多いそうですが、何も出来なくても大丈夫。例えばあいさつが出来たら褒めてあげる。一人でお着替えできたら褒めてあげるなどそのお子さんの成長に合わせて一つ一つ丁寧に指導しているようです。またYMCA幼稚園では送迎バスが無くお弁当は持参との事ですが、それは常に親御さんの顔が見える様にして幼稚園との繋がりを強くし共に子供の成長を見守る為とのこと。



その後、先生方に数え唄の指体操を全員で教わりましたが幼稚園児よりも覚えが悪い様でした。（苦笑）また安倍先生の手作りの指人形劇は完成度が高く感心させられました。最後に青葉幼稚園時代から使用しているという紙芝居「おむすびころりん」を読んでいただきましたが、裏面を見ると昭和31年製造と書いてありました。皆さん童心に還り楽しい一時を過ごすことが出来ました。仙台青葉城クラブの清水ワイズからは「石巻広域ワイズメンズクラブ」の設立に向けての説明と協力の要請がありました。

一人でも多くの仲間が出来るのを祈念いたします。

【4月第2例会】

日時： 4月7日（火） 18：45～21：00
 場所： 仙台YMCA会議室
 出席： 阿部・伊勢・及川・加藤研・門脇・菅野・佐藤健吾・佐藤剛・松本・吉田

報告・協議事項

- 4/3（金）第35回東日本大震災支援仙台3クラブ実行委員会開催

場所：仙台YMCA会議室 18：45～21：00

（参加：伊勢・門脇・松本）

諸事項・会計状況の報告など

- 4/4（土）第2回（仮）石巻広域ワイズクラブ設立準備委員会開催

場所：YMCA石巻支援センター 17：00～19：00

参加12名（参加：門脇）

検討された4事項

- ・クラブ会則の検討
- ・例会開催日・会費
- ・勧誘用のパンフレット

・区大会の参加と物品販売・仮例会

- 広瀬川クラブ例会開催曜日変更の件

仙台他クラブとの調整により、第1と第2例会の曜日を合わせ水曜日とすることとした。

これにより、

第1例会は第3水曜日

第2例会は第1水曜日となる。

*変更は次年度より（ロースターも変更）

<4月の主な行事予定>

月日	曜	行 事 内 容	場 所
4/11・12	土 日	名古屋グランパスクラブ被災地訪問	岩手県各地
4/15	水	4月第1例会<お花見例会>	仙台YMCA
4/18	土	第3回北東部評議会	宇都宮
4/25・26	土 日	阪和部被災地訪問	

【国連防災世界会議】

3月14日(土)9:30~11:30で国連防災世界会議パブリック・フォーラム テーマ館「市民協働と防災」企画事業として、仙台市民活動サポートセンター6Fセミナーホールにて公益財団法人仙台YMCAと公益財団法人日本YMCA同盟が主催、公益財団法人横浜YMCAとスマートサバイバープロジェクト、ワイズメンズクラブ国際協会が協力して、初日の14日(土)にシンポジウムと防災ウォークラリーを実施しました。シンポジウムは、「災害から尊い命を守るために」をテーマに、西條剛央氏(早稲田大学大学院准教授・スマートサバイバープロジェクト代表)、佐藤敏郎氏(東松島市矢本第2中学校防災担当主幹教諭・大川小学校保護者)、大塚英彦氏(横浜YMCA 国際・地域事業担当)の3名がそれぞれの視点で基調講演を行いました。改めて、自分の命は自分で守る、命があってこそ次のステップがあることを強調していたことが印象的でした。



午後からはシンポジウムに引き続き、場所を仙台YMCA立町会館ならびに西公園に移し、「防災ウォークラリー」を行いました。時間は13:30~15:30。参加者は約30名。13:30に仙台YMCA立町会館に集合し、「防災ウォークラリー」について、公益財団法人横浜YMCAの大塚英彦氏より説明がありました。その後、西公園へみんなで移動し、実際の「防災ウォークラリー」説明をし、スタートしました。まず、西公園の地図をグループに配布し、地図に書かれた高度(正確なものではなく仮のもの)を確認してもらいました。そして、合図とともに地震が起こり津波が来ることを想定して、地図上の最も高い場所へグループで移動し、その後もっとも高い地点に到着後何が必要かを話し合い、地図上に記載されているポイント(食料・水・コンビニ・電気等)を優先す

べき順番に 回るウォークラリーが行われました。いざという時に何が必要か。何を優先すべきかを体験するプログラムになりました。



入園式・入学式

幼稚園 34名、専門学校 29名の皆さんを、仙台YMCA100周年記念植樹(10年前)の満開の桜がお迎えしました。



編集後記

春です！ ご入園・ご入学おめでとうございます。
ベガルタ予想以上に好調！ 楽天主想通り。
先は長い！ 共に前に共に上に！ H・H